



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 クラレ

コード番号 3405 URL <http://www.kuraray.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 文大

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 IR・広報部長

(氏名) 島本 智之

TEL 03-6701-1071

四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	275,738	2.0	43,036	8.8	42,463	10.5	25,442	13.6
23年3月期第3四半期	270,427	11.4	39,546	102.0	38,416	106.0	22,402	84.5

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 22,059百万円 (85.3%) 23年3月期第3四半期 11,901百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	73.05	72.94
23年3月期第3四半期	64.35	64.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	527,109	360,393	67.2
23年3月期	507,328	346,825	67.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 354,316百万円 23年3月期 343,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	13.00	—	14.00	27.00
24年3月期	—	16.00	—		
24年3月期(予想)				17.00	33.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	372,000	2.4	57,000	7.4	55,500	8.7	33,500	16.6	96.18

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	382,863,603 株	23年3月期	382,863,603 株
24年3月期3Q	34,549,191 株	23年3月期	34,611,169 株
24年3月期3Q	348,293,362 株	23年3月期3Q	348,153,844 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(2)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表等	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 追加情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)の経営環境は、期央に発生した金融危機を背景とする欧州経済の低迷、米国の景気停滞に加え、タイの洪水によるサプライチェーンの分断などにより世界景気の減速感が強まりました。さらに、世界経済を牽引してきた新興国経済も、先進国への輸出減少や物価上昇などから成長スピードが鈍化しつつあります。また、日本経済もデフレが深刻化する中、急激な円高の進行も加わり、予断を許さない状況が続いています。

こうした中で当社グループは、価格の維持・改定、高付加価値品へのシフト等、景況悪化への対応策を講じてきました。さらに中期アクションプラン『GS-Twins』に掲げた事業拡大、成長に向けた積極的な施策も順次実行しています。

この結果、売上高は前年同期比5,310百万円(2.0%)増の275,738百万円、営業利益は3,490百万円(8.8%)増の43,036百万円、経常利益は4,047百万円(10.5%)増の42,463百万円、四半期純利益は3,039百万円(13.6%)増の25,442百万円と増収増益になりました。

セグメント別の状況

〔樹脂〕

期前半は欧米・アジア市場全般で需要が堅調でしたが、期後半、欧州景況悪化の影響を受け、成長のスピードが鈍化しました。その結果、売上高は113,703百万円(前年同期比2.8%増)、営業利益は37,912百万円(前年同期は37,904百万円)となりました。

- ①ポパール樹脂は、新興国向けの付加価値品は堅調でしたが、期後半に欧州市場悪化の影響を受けました。光学用ポパールフィルムは前年比ほぼ横ばいで推移しました。なお、当事業の中期的な需要の拡大に対応するため、西条事業所でのさらなる新ラインの増設(年産3,200万㎡、平成25年6月稼働予定)を決定しました。PVBフィルムは堅調に推移しました。
- ②EVOH樹脂<エパール>は、食品包装用途、ガソリタンク用途ともに前年比増販となりました。なお、当事業の需要拡大に対応するため、米国における生産能力の増強(年産12,000トン、平成26年1月稼働予定)を決定しました。

〔化学品〕

期前半は一部の事業が震災による生産停止の影響を受けたものの順調に推移しました。一方、期後半は世界的な経済の変調を受け、全体的に需要が減少しました。その結果、売上高は56,256百万円(前年同期比0.1%増)、営業利益は7,914百万円(同33.2%増)となりました。

- ①メタクリル樹脂は、期前半は順調に推移したものの、期後半は液晶向け成形材料の需要の減少および競合激化の影響を受けました。
- ②イソプレンは、熱可塑性エラストマー<セプトン>が世界的な経済の変調を受け、販売数量が減少しました。ファインケミカルは期を通じて堅調に推移しました。
- ③耐熱性ポリアミド樹脂<ジェネスタ>は、LED反射板用途が不調で減収となりましたが、自動車用途等の新規分野開拓により増益となりました。
- ④メディカルは、平成23年4月をもって事業統合した株式会社ノリタケデンタルサプライの歯科材料事業が加わり、堅調に推移しました。

〔繊維〕

ビニロンが堅調に推移しましたが、一部事業では需要の停滞が続きました。その結果、売上高は44,853百万円(前年同期比1.4%減)、営業利益は1,037百万円(前年同期は128百万円の損失)となりました。

- ①ビニロンは、一次電池セパレータ用途、自動車用ブレーキホース用途が概ね順調に推移しましたが、期後半、アスベスト代替のFRC(繊維補強セメント)用途の需要が、欧州市場低迷の影響を受けました。
- ②人工皮革<クラリーノ>は、ランドセル用途が好調に推移し、新プロセス品も靴・インテリア・資材用途等に徐々に浸透しつつあり、業績が改善傾向にあります。なお、当事業は引き続き抜本的な事業構造の改革に取り組んでいます。

③不織布<クラフレックス>は、ウェットワイプおよび業務用カウンタークロスは堅調に推移しましたが、産業用マスクの需要は停滞しました。

[トレーディング]

一部の事業で需要が減少しましたが、ポリエステルをはじめとする繊維関連事業において差別化素材が順調に拡大しました。その結果、売上高は84,071百万円(前年同期比2.1%減)、営業利益は2,621百万円(同11.6%増)となりました。

[その他]

活性炭が、浄水・キャパシタ(蓄電装置)用途等で堅調に推移しました。それ以外の事業も概ね堅調に推移しました。その結果、売上高は50,431百万円(前年同期比19.8%増)、営業利益は4,092百万円(同7.5%増)となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の業績予想につきましては、世界経済低迷、特に欧州市場の悪化とユーロ安の進行を背景として、ポパール樹脂、熱可塑性エラストマー<セプトン>、メタクリル樹脂等の業績が悪化しているため、以下のとおり修正します。

平成24年3月期 通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成23年10月31日)	百万円 390,000	百万円 60,000	百万円 58,500	百万円 34,000	円 銭 97.62
今回修正予想(B)	372,000	57,000	55,500	33,500	96.18
増減額(B-A)	△18,000	△3,000	△3,000	△500	
増減率(%)	△4.6%	△5.0%	△5.1%	△1.4%	
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	363,191	53,095	51,062	28,742	82.55

第4四半期以降の平均為替は米ドル77円、ユーロ100円、国産ナフサ価格51千円/KLを前提としています。

<ご参考>平成24年3月期 セグメント別業績予想数値

(単位:億円)

	売上高	営業利益
樹脂	1,500	510
化学品	760	95
繊維	630	10
トレーディング	1,110	35
その他	680	60
調整額	△960	△140
合計	3,720	570

注:上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しています。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,221	36,391
受取手形及び売掛金	76,135	76,195
有価証券	127,128	119,945
商品及び製品	40,534	52,652
仕掛品	8,122	9,538
原材料及び貯蔵品	12,732	15,519
繰延税金資産	6,046	4,311
その他	6,475	7,423
貸倒引当金	△802	△716
流動資産合計	310,594	321,261
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,701	34,036
機械装置及び運搬具(純額)	79,216	71,411
土地	17,976	19,670
建設仮勘定	11,867	25,913
その他(純額)	2,477	3,897
有形固定資産合計	145,238	154,929
無形固定資産		
のれん	12,725	12,350
その他	2,842	2,511
無形固定資産合計	15,568	14,861
投資その他の資産		
投資有価証券	19,577	18,372
長期貸付金	1,189	577
繰延税金資産	4,725	4,639
前払年金費用	6,243	5,929
その他	4,378	6,683
貸倒引当金	△186	△145
投資その他の資産合計	35,926	36,057
固定資産合計	196,733	205,848
資産合計	507,328	527,109

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,308	34,500
短期借入金	12,738	13,077
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	10,369	6,786
賞与引当金	6,670	3,925
災害損失引当金	300	59
その他の引当金	1	6
その他	15,825	22,410
流動負債合計	86,214	80,767
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	43,035	41,999
繰延税金負債	4,918	4,709
退職給付引当金	14,641	15,512
役員退職慰労引当金	167	182
環境対策引当金	1,122	1,106
資産除去債務	2,222	2,169
その他	8,179	10,268
固定負債合計	74,288	85,948
負債合計	160,502	166,715
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,147	87,147
利益剰余金	225,743	240,719
自己株式	△40,856	△40,783
株主資本合計	360,989	376,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,280	1,922
繰延ヘッジ損益	△14	△18
為替換算調整勘定	△19,916	△23,407
年金負債調整額	△233	△219
その他の包括利益累計額合計	△17,884	△21,723
新株予約権	560	1,027
少数株主持分	3,159	5,049
純資産合計	346,825	360,393
負債純資産合計	507,328	527,109

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	270,427	275,738
売上原価	181,475	182,320
売上総利益	88,951	93,417
販売費及び一般管理費		
販売費	13,625	13,798
一般管理費	35,779	36,582
販売費及び一般管理費合計	49,405	50,381
営業利益	39,546	43,036
営業外収益		
受取利息	287	296
受取配当金	1,070	1,173
持分法による投資利益	29	8
その他	686	813
営業外収益合計	2,073	2,293
営業外費用		
支払利息	861	801
その他	2,341	2,064
営業外費用合計	3,203	2,865
経常利益	38,416	42,463
特別利益		
持分変動利益	—	845
特別利益合計	—	845
特別損失		
災害損失	—	950
災害損失引当金繰入額	—	60
投資有価証券評価損	525	517
固定資産廃棄損	219	270
減損損失	—	131
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,548	—
構造改善特別損失	206	—
特別損失合計	2,499	1,928
税金等調整前四半期純利益	35,916	41,380
法人税、住民税及び事業税	10,805	13,356
法人税等調整額	2,600	2,124
法人税等合計	13,406	15,481
少数株主損益調整前四半期純利益	22,510	25,898
少数株主利益	107	455
四半期純利益	22,402	25,442

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	22,510	25,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,198	△356
繰延ヘッジ損益	83	△3
為替換算調整勘定	△9,492	△3,491
年金負債調整額	—	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△1
その他の包括利益合計	△10,608	△3,839
四半期包括利益	11,901	22,059
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,794	21,603
少数株主に係る四半期包括利益	107	455

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	樹脂	化学品	繊維	トレーディング	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	87,647	35,063	31,574	83,421	237,707	32,720	270,427	—	270,427
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	22,946	21,152	13,932	2,465	60,497	9,359	69,856	△69,856	—
計	110,594	56,215	45,507	85,887	298,204	42,079	340,284	△69,856	270,427
セグメント利益 又は損失	37,904	5,941	△128	2,348	46,067	3,807	49,875	△10,329	39,546

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、活性炭、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△10,329百万円には、セグメント間取引消去201百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△10,530百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II. 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	樹脂	化学品	繊維	トレーディング	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	91,537	35,326	32,779	81,176	240,819	34,919	275,738	—	275,738
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	22,165	20,929	12,074	2,894	58,064	15,512	73,577	△73,577	—
計	113,703	56,256	44,853	84,071	298,884	50,431	349,315	△73,577	275,738
セグメント利益	37,912	7,914	1,037	2,621	49,485	4,092	53,577	△10,541	43,036

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、活性炭、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△10,541百万円には、セグメント間取引消去△338百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△10,202百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しています。